

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	政策部	
	17096	若者交流推進事業	課名	政策推進課 政策調整G	
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財務科 目	会計	01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進		款	02:総務費
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進		項	01:総務管理費
戦略プロジェクト	-	目		07:企画費	
事業予定期間	H 28 ~ R 3 年度		主な根拠法令要綱等		

② 目的・概要	対象	市内在住・在勤・在学の若者
	目的	若者の力によって地域の活力を生み出すため、若者同士の交流機会の創出・充実を図るとともに、若者ならではのまちづくりアイデアを提案するなど、市政への積極的な参画を促進し、地域の活性化を図る。
概要	かめやま若者未来会議を交流基盤として、まちづくりに関する活動に取り組む。令和元年度に発表するまちづくりアイデア(政策提言)を踏まえ、地域の活性化につながるプロジェクトを検討・実践するとともに、市のイベント等に参加し、多様な主体との交流を行う。 また、効果的なアウトプットを実現するための学びとして、視察等を実施する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○まちづくりアイデアの検討・発表 ・まちづくりに関する視察等の実施 ・メンバー会議の開催 ○市のイベント等への参加	○まちづくりプロジェクトの検討・実践 ・まちづくりに関する視察等の実施 ・メンバー会議の開催 ○市のイベント等への参加	○まちづくりプロジェクトの実践 ・まちづくりに関する視察等の実施 ・メンバー会議の開催 ○市のイベント等への参加	
	年度実績	○まちづくりアイデアの検討・発表 ・まちづくりに関する視察等の実施(1回:地方創生★政策アイデアコンテスト聴講) ・メンバー会議の開催(11回) ・伊賀市若者会議との交流(1回) ○市のイベント等への参加 1回:東海道関宿街道まつりにて「かめタビ(タピオカミルクティー)」の販売	○まちづくりプロジェクトの検討・実践 ・メンバー会議の開催(2回) ○市のイベント等への参加 ・行政情報番組の市民アナウンサーとして活動	○まちづくりアイデアの検討 ・(メンバー会議開催2回) ○市のイベント等への参加 ・行政情報番組の市民アナウンサーとして活動	
事業の計画・実績	計画額	事業費	1,000千円	1,000千円	1,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
	予算額	事業費	900千円	593千円	830千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	900千円	593千円	830千円	
	決算額	事業費 ①	287千円	3千円	330千円
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他					
一般財源	287千円	3千円	330千円		
人件費	総人件費 ②	1,570千円	784千円	790千円	
	一般職員	1,570千円	784千円	790千円	
	所要人員	0.20	0.10	0.10	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		1,857千円	787千円	1,120千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
④ 指標	①	名称	かめやま若者未来会議の登録者数(累計)	計画値	50	55	60
			事業開始年度(平成28年度)からの累計登録者数	実績値	56	59	61
				単位	人	人	人
	②	名称	政策アイデアの発表回数	計画値	1		
			かめやま若者未来会議が行った政策アイデアの発表回数	実績値	1		
				単位	回		
	③	名称	まちづくりプロジェクトの実施回数	計画値		1	1
			かめやま若者未来会議が行ったまちづくりプロジェクトの実施回数	実績値		0	0
				単位		回	回

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 コロナ禍で低調となっていた活動を盛り上げるとともに、若者の街づくりへの参画を推進していくため、新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しつつ、まちづくりアイデアの具体化に取り組み、メンバーが達成感を持てるような活動を展開する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 コロナ禍においても、オンラインを活用しメンバー会議を継続させるとともに、まちづくりアイデアの具現化に向け、外部アドバイザーの協力が得られる体制を整備した。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、「かめやま若者未来会議」の対面での交流の場を設定することができなかったものの、オンラインでの会議を2回開催し、外部アドバイザーを交え、まちづくりアイデア(政策提言)のブラッシュアップと具現化に向けた検討を行った。 また、市長と若者の意見交換の場として開催された「かめやまユース・ミーティング」に高校生や大学生とともに参加し、ファシリテーター役を務めたほか、市の行政情報番組に市民アナウンサーとして出演した。 一方で、コロナ禍により参加を予定していたイベントが中止されたほか、まちづくりに関する先進地視察を見送るなど、予定していた活動の一部は実施できなかった。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加を予定していたイベント等の中止や、対面でのメンバー会議が開催できなかったこともあり、まちづくりアイデアのブラッシュアップや具現化に向けた主体的な活動が進まず、また、メンバー同士の交流の機会も制限されたことから、市政への参画につながる意識の醸成が進まなかった。	C あまり成果を得られなかった

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 新型コロナウイルス感染症の影響により、「かめやま若者未来会議」の活動が制限される中、メンバーが大幅に入れ替わっていることから、メンバー間の一体感の醸成を図るとともに、まちづくりアイデア(政策提言)のブラッシュアップや具現化に向けた検討を進める必要がある。	次期実施計画への方向性 【その他の場合、その内容を記載】 標準事業として実施する
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら、対面又はオンラインでのメンバー会議を開催するほか、市内イベント等への参加等、メンバー間の一体感を醸成できるような活動を展開する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 まちづくりアイデア(政策提言)の具現化に向けた活動が展開されるとともに、若者同士の交流を促進することにより、若者の積極的な市政への参加につなげることができる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	政策部 政策推進課 政策調整グループリーダー 廣森 祐貴
【最終評価者】	政策部 政策推進課長 大平 守

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	C	B
	成果	A	A	A	C	C

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		830 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	830 千円
	令和4年度への繰越額	千円